

かみくげ 恐竜の里新聞

平成 24 年 11 月 25 日 発行：上久下恐竜の里づくり協議会
上久下地域づくりセンター 0795 78 0001



第 50 号
記念号

地域に安心をもたらす医療・介護施設が上久下に実現！

「山南古代の里」来春オープン 小規模多機能型居宅介護施設

上久下地域づくりセンター西隣（旧八尾電機跡地）に建設を予定していた介護福祉施設「山南古代の里」の建設がいよいよスタートしました。施設は木造2階建て、延べ床面積460㎡で、平成25年4月にオープンします。施設を運営する社会福祉法人丹波柏原福祉会（上山一雄理事長）は11月15日、地元自治会関係者を招いて安全祈願祭を執り行いました。



上山理事長



完成予想図

登録者定員25人のショートステイやデイサービス、訪問介護が受けられる小規模ながら多機能を持ち合わせた福祉施設が上久下地内に建設されることに地元は大いに歓迎しています。介護福祉施設を上久下に建設することを決めた丹波柏原福祉会は地内複数の候補地を調査した結果、八尾電機跡地での建設となりました。「このような介護福祉施設を上久下地域内で実現することになってほっとしています。地域の皆さんに喜んでもらえるようなサービスを提供したい。自分も上久下の住民になったつもりで施設運営に取り組みたい。皆さんからの協力、ご支援を得ながら充実した山南古代の里になるよう努力していきたい」と上山理事長は熱く話されていました。

施設の職員募集では地域優先で公募され複数の方の採用が決まりました。今後、この施設を介護に必要な方々に利用してもらい、地域のみなさんがこの施設といろんな点で関わりをもち、ここを核として新たな地域づくりに取り組みたいと柳川瀬自治協議会長は抱負を述べていました。

心療内科・内科 上久下の森診療所 建設進む



建設中の診療所

下滝地内、「公卿泉」跡地に建設される「森診療所」の建設工事が着々と進んでいます。大小竹木が密集して昼間でもうっそうとしていた跡地もきれいに整地され、建屋の建築作業が順調に進んでいます。棟上げを21日に行った診療所は1階平屋建て、延床面積280㎡で東側に隣接して建設予定の薬局とともに来年1月末に完成の予定です。診療開始は3月初旬の予定とされています。診療所を開業するのは安井不二男医師（54歳）で一般内科、診療内科および

漢方全般を中心とした診療をします。森診療所では安井医師、心理士の他、複数の看護師、事務員らが勤務し、診療時間は午前9時から12時、午後4時から7時まで、木曜・土曜日は午前中のみ。また日・祝・祭日は休み。安井医師夫妻は2人の子ともさんと柏原町に住まれ、自宅から上久下に通勤されます。県立東洋医学研究所や勤務された安井医師は、現在、篠山市のいきいき記念病院で診療されている経験豊富な方です。「上久下の豊かな自然環境が生み出すパワーは医療の立場から、患者の強い味方になってくれる」と上久下での診療所オープン理由を話されていました。

長い間、医者がいなかった山間地区に診療所ができることは地域にとって望まれていたことで、今後のまちづくりを加速させることにもつながります。と大いに期待されるところです。



安井医師

里新聞でふり返る4年半

第 1 号 (平成 20 年 5 月) ~ 第 50 号 (平成 24 年 11 月)

過去の里新聞はすべて、丹波竜の里ホームページでカラーでごらんになれます

第1号 (H20年5月)
里づくり協議会発足、発掘現場展望台・集落内案内看板完成

第2号 (H20年6月)

旧上久下村発電所跡が国の登録有形文化財に認定・丹波竜2次発掘調査で胴体部の化石多数発見

第4号 (H20年8月)

発掘現場に等身大恐竜ミニメン



第5号 (H20年9月)

「われらが里の元氣人見つけた」シリーズがスタート。次の方々に登場願いました。(カッコ内当時の年齢) 西垣菊枝さん (下滝 91 歳)・村岡文雄さん (太田・103 歳)・村上こみつさん (篠場・94 歳)・桐林まさあさん (阿草・94 歳)・門脇峰子さん (太田・94 歳)・森田隆子さん (下滝・92 歳)・中島美和子さん (青

田・88 歳) 柳川瀬たまゑさん (畑内・93 歳)と藤原慎司さん (上滝・92 歳)はお亡くなりになりました。

第10号 (H21年2月)

かみくげホームページを開設、全国に地域情報発信

第12号 (H21年4月)

恐竜列車が初めて丹波路を駆け



第13号 (H21年5月)

恐竜の里スタンプラリーに2千人が参加

第15号 (H21年7月)

元氣村に拠点施設が完成

第19号 (H21年12月)
恐竜焼きを意匠登録し、発売開始



第21号 (H22年2月)

発電所跡が記念館として再スタート、記念式典に市長ら参加

第24号 (H22年7月)

シリーズ「私の上久下生活ターニン・Uターニン編」がスタート

次の方々を紹介しました。

坂野正幸さん夫妻 (篠場)・桜井實さん夫妻 (畑内)・斎藤尚志さん家族 (青田)・呉田哲一さん家族 (上滝)・藤本良材さん家族 (下滝)・中川利行さん夫妻 (北太田)・松原薫さん夫妻 (青田)・長木元義さん夫妻 (太田)

第29号 (H22年12月)

丹波竜化石工房「ちーたんの館」がオープン



第32号 (H23年3月)

シリーズ「里の子育て奮闘記」連載始まる。若林哲史さん家族 (上滝)・西田浩司さん家族 (下滝)・前田浩三さん家族 (阿草)を紹介

第34号 (H23年5月)

企業組合元氣村かみくげ創立総会開催される。組合員数74名でスタート。

第40号 (H23年12月)

里づくり協議会がまちづくり活動で「県知事賞」を受賞

第42号 (H24年2月)

コミュニティシアター「ふれあい映画劇場」が地域づくりセンターでオープン。月1回、懐かしの映画などの上映を始める

第45号 (H24年5月)

地域づくりセンターに恐竜時計台 (全国初) がお披露目。落成式典に市長、県民局長ら参加



第46号 (H24年6月)

里づくり協議会が24年度まちづくり月間表彰で国交大臣表彰を受ける



第47号 (H24年7月)

人と自然の博物館は「丹波竜下顎骨化石」を発表。世界的にも貴重な発見と注目



第48号 (H24年8月)

「上久下夏まつり総おどり大会」を元氣村かみくげ広場で開催

里新聞でめざす 5年後の上久下

丹波竜の里整備計画

◆広田のつり橋

昭和6年に架けられた全長66メートルの橋が、補強して架け替えられます。完成予定は平成26年。



◆遊歩道整備

元氣村から下滝に至る川沿いに整備。JR福知山線を横切らず川沿いの散歩が可能。完成予定は平成27年。

◆化石産状レプリカの設置

発電所記念館前に、連なって発掘された化石群のレプリカを設置。完成予定は平成27年。

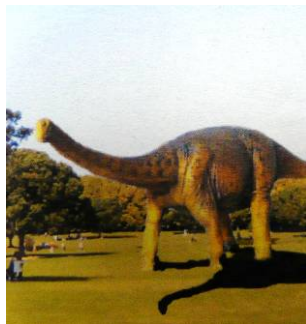


◆篠山川展望広場の設置

篠山川の侵食による奇岩・奇景、四季折々の景色を楽しむ展望デッキの設置。完成予定は平成27年。

◆ふれあい広場の整備と恐竜モニュメントの整備

元氣村周辺に「ふれあい広場」を整備し、元氣村一帯の多目的使用を目指す。広場には大型の恐竜モニュメントを設置。完成予定は平成26年。



地域の賑わいと安全安心のまちづくり計画

◆県道篠山・山南線のトンネル整備

県道77号線（大山下井原）の川代トンネルの整備。完成予定平成28年。

◆県道南バイパスの整備

地域の交通難所の解消と安全・安心のため早期完成が望まれる。

◆医療・介護施設の充実

「森の診療所」・「古代の里」（一面掲載）の完成による安心して暮らせるまちづくりを実現。

◆丹波竜太鼓の開発と保存会の発足



手づくりの恐竜太鼓「丹波竜物語」第1楽章から第5楽章までを誰でもが参加して演奏できる丹波竜太鼓保存会を立ち上げ、地域の新しい文化として継承していく。また、神楽の舞に似た「竜の舞」も開発し将来につなげたい。

12月の予定

- ◆12月1日（土）化石工房ちーたんの館 2周年記念 午前10時 山南支所
- ◆12月9日（日）ふれあい映画劇場 午後7時30分
- ◆12月14日（金）里づくり協議会例会 午後7時30分
- ◆12月16日（日）衆議院議員選挙 午前7時

同窓会だより

上久下小 35 卒



4年ぶりに昭和35年上久下小学校卒業生の同窓会が下滝の松原楼で行われました。82名の卒業生から地元在住者はもちろん京阪神間からも多くの仲間が駆けつけ、男性18名、女性8名と懐かしい顔が一同に会しました。初めは名前と顔が一致しなかった参加者も会が始まるとあっという間に50年以上前の小学生時代にタイムスリップし、思い出話に花を咲かせていました。卒業後それぞれ違った道を歩んで永らく音信のなかった仲間も、ひとたび会えばたちまち「おい、お前」と遠慮なく話せる信頼感、仲間意識は同級生ならではのものです。4年前の還暦同窓会のフォトムービーやカラオケを楽しんだ後、最後はみんなで肩を組んで星影のワルツを合唱しながら2年後の再会を約束して名残おしく会場を後にしました。（太田 K・N）

50号発行に寄せられたメッセージ

上久下老壮会会長
村岡 正廣さん

「恐竜の里新聞」記念すべき第50回目の発行、誠にめでたきこととお祝いを申し上げます。一口に50回と言っても大変なこと。直接かかわっておられる村上茂さんのご苦勞に敬意を表します。ところで、上久下地域も少子化、それに65歳以上の高齢者が占める割合が3割を超え、集落によって4割に達しています。大変な課題です。老壮会、今後とも会員の親睦研修を図りながら、少しでも地域に役立てればと思っております。「恐竜の里新聞」この地域の情報紙として、益々充実発展することを祈ります。

上久下小学校 学校長
前川 菊男さん



かみくげ 恐竜の里新聞第50号 発行、まことにめでとうございます。地域の情報発信にご尽力されてこられました関係各位に心からお祝い申し上げます。本校は、「ふるさと教育」を学校の大きな柱としています。「上久下に学び・上久下に育つ」を目標として学校での学習と地域を結び、子どもたちに活きた学力を育ててまいります。地域のひととをつなぐ大切な役割を担われる恐竜の里新聞の、今後のさらなる発展を

祈念申し上げます。

丹波警察署 下滝駐在所
橋本 義満さん

かみくげ恐竜の里新聞50号記念発行、誠にめでとうございます。毎号、地域の新鮮な情報が満載であり、また子供にもわかりやすい紙面と編集に携わる方々の総意工夫と御苦勞に心から敬意を表します。これから上久下地域の身近でホットなニュースを、どこよりも丁寧に、親しみやすく発信し続けて頂きますよう、住民の一人として願っています。

丹波市まちづくり指導員
篠倉 義弘さん



「恐竜の里新聞」50号発行おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。この新聞は上久下地域の住民の皆さんの絆として、なくてはならない情報の源となっています。来年の春には介護施設がオープンと聞きました。地域づくりの成果が着実に具体化していることを共に喜ぶたいと思います。これからも、絆をつなぐ「恐竜の里新聞」に期待してお祝いの言葉とします。

上久下松風句会
村上 美智子さん

恐竜の里新聞は、毎月の月末集金で部落公民館へ行っている市報誌と一緒にもらっています。旧上久下地区内から来る、又、翌月の予定などいろいろ書かれていますので楽しく読ませていただいています。新聞の活字も当初のものより大きくなっていて年寄りにとって読み易くなりました。有線放送のお知らせも便利で、大事な事がわからないままに返り見られるのでありがたいです。編集担当のセンター長さんは下滝自治会の会長の長さんであり取材などお忙しいと思いますが、末長く続けて頂きますようお願い申し上げます。

自治協議会会長
柳川 瀬 義輝さん

柳川 瀬 義輝さん

「かみくげ恐竜の里新聞」は平成20年5月に創刊号発行以来、50回目を数えました。この間、上久下地域のいろいろな出来事を情報発信し、ローカルコミュニティ紙として定着してきました。この新聞が届くのを待っていてくれる人が多くさんおられることに感謝しながら、より充実した内容にして欲しいです。次は100号記念になります。約40年先になりますが、その時は私もこの新聞が届くのを楽しみに待つ一人になりたいです。

自治会長会会長
中西 邦雄さん

ここに50号の記念発行を迎えられ、お祝いを申し上げます。同時にこれまで編集に携わってこられた皆様のご努力に対し改めて敬意と謝意を表します。地域の活性化がますます重要となっているなかで、これまで本誌が果たしてきた役割には大変大きなものがあると感じています。今後とも情報発信に、地域と人を結びつける架け橋として住民に信頼され、愛される新聞であり続けて欲しいと願っています。

里新聞編集部より

◆今回50号を発行するに当たり感慨深いものがあります。恐竜化石発見に伴うまちづくり活動のスタートに合わせ、平成20年より始めた「恐竜の里新聞」が4年半を経過し50号を迎えることになりました。当初、化石発見で賑わった地域の情報を地区住民の皆さんと共有できるようにと始め、その後化石のみでなく、地域内の各分野での出来事を紹介したり、元気なお年寄りや新しく加わった住民の皆さん、子育てに励む若い夫婦らを出るだけ優しい、語り言葉で記事にしてみました。お陰さまで里新聞も皆さまにご愛読いただき、また、地域外に住まわれている上久下出身者にはホームペー